

# 図書館だより

2021年3月号 No.409

発行／静岡市立図書館 編集／蒲原図書館



## 「蒲原宿」について

江戸時代、江戸と京を結ぶ主要道として東海道は本格的に整備されていきました。当時の東海道は、大名行列や旅人の往来により活気に溢れました。この東海道には全部で53の宿場があります。静岡市には東側から順に蒲原、由比、興津、江尻、ふちゅう まりこ府中、鞠子の6つの宿場があります。そもそこの宿場とは、江戸時代に文書や荷物を運ぶ中継地点として整備され、利用されたのが始まりです。飲食店や遊興施設などが次々と生まれ、宿場のある集落は発展しました。



さて、蒲原宿は江戸から数えて15番目の宿場になります。本陣、脇本陣、といやば こうさつば はたごや問屋場、高札場や旅籠屋、商家が置かれ、江戸時代には、50件近くの旅籠はたごを持つ宿場となりました。

蒲原には当時の町割りと木戸の位置が今でも残っています。木戸は、江戸時代の宿場の入口です。町役人が朝6時に木戸口を開け、夜10時に閉めていました。宿場の治安維持と通行人の監視を行うことで、宿場が静かに暮らせるようにしていました。木戸は見附みつけと呼ばれることも多いのですが、蒲原宿の場合は木戸と呼ばれており、「東木戸跡」と「西木戸跡」があります。

最初の宿場は海岸に近い場所に作られました。しかし、元禄12年8月15日の大津波により、宿場の総戸数の3分の1にあたる、およそ100軒が流されてしまいました。それから2年後に山側を新しい宿場としました。明治・大正時代には、江戸時代の構造を残した多くの民家が建て替えられました。今でも多くの古民家が現存し、その名残をとどめており、古い町並みが当時の街道を思わせます。旧東海道の面影が残るレトロな街並みを見に、ぜひ、散策にいらしてください。

## <<参考文献>>

- 『東海道をゆく 静岡県 22 宿完全ガイド』静岡新聞社／編 S291  
『蒲原宿 江戸の香りが残る夢の宿場町を歩く』静岡二峠六宿街道観光協議会／編 S291.36 カ  
『しずおか東海道まちあるきガイドブック』静岡市観光交流文化局観光交流課／編 S291.09 シ  
『かんばらっ子 子どももおとなも元気になるまち』蒲原「子どもと文化」研究会／編 S318 カ  
『蒲原 東海道十五番目の宿場町』静岡市清水区地域総務課／編 S291.36 カ  
『駿河東海道おんぱく～蒲原宿～ 蒲原探訪・光蓮寺浄瑠璃姫祭り』塩坂高男／編 S291.09 ス  
『旧東海道を歩く 静岡県内二十二宿の探索』塩坂高男／編 S290

## 引っ越しのご予定はありませんか??

### ★★静岡市外へ転出される方★★

図書館カードと借りている資料を忘れずにご返却ください。

### ★★市内で転居される方★★

住所等の変更手続きが必要となります。お近くの図書館にお申し出ください。

## ★中央図書館の休館中は臨時窓口をご利用ください★

- ◇開設場所 中央図書館前の利用者駐車場  
◇取扱業務 予約の受付、予約資料の貸出・返却  
◇開設時間 平日（月～金）9：30～19：00、土日祝日 9：30～17：00  
※毎月第2月曜日、第4水曜日（国民の祝日にあたる場合は翌日）、国民の祝日の次の平日（土日・国民の祝日以外の日）、12月28日～翌年1月5日、資料点検期間を除く  
◇その他 中央図書館の蔵書は利用できません。（WEB検索も対象外）  
ブックポストの位置は利用者駐車場に変更しています。

## <<図書館HPアドレス>>

- ・パソコン <https://www.toshokan.city.shizuoka.jp/>
- ・携帯 <https://www2.toshokan.city.shizuoka.jp/winj/mobileopac/top.do>

静岡市立図書館の情報はこちらから



Web サイト



Twitter

静岡市立中央図書館 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町 29-1 (054-247-6711)

御幸町図書館(054-251-1868) 藁科図書館(054-278-4100) 西奈図書館(054-265-2556)

北部図書館(054-653-1817) 南部図書館(054-288-2151) 長田図書館(054-259-7878)

清水中央図書館(054-354-1331) 清水興津図書館(054-360-4311)

蒲原図書館(054-388-3456) 麻機分館(054-248-5035) 美和分館(054-296-6501)